

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円
会員限定HPの閲覧

シーズンパス会員



年会費 5,000円
年間のリーグ戦が無料で観戦可能

同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円
同時入会だとさらにお得！

色紙
プレゼント
→中大座談会の様子



ここだけの情報満載
→中大座談会の様子

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式HP内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFAハウス 7F
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ
E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを
ゲートにて500円(税込)
で販売しております！

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください！

集中応援情報

【第8節】

*早稲田大学、慶應義塾大学
5月9日(土) 11:30 Kick Off
早稲田大学 vs 慶應義塾大学
@味の素フィールド西が丘

*順天堂大学
5月9日(土) 13:50 Kick Off
vs 専修大学
@フクダ電子アリーナ

伝統の早慶戦！



JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.23-NO.07 Division 1



発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：加茂 郁実・関東大学サッカーサポーターズクラブ

流経大が単独首位浮上！混戦となった第6節

第6節を終え、いよいよ前期リーグも後半戦へと突入したJR東日本
カップ 2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦。

保土ヶ谷で行われた桐蔭大対神大の一戦。前半は両チームともに積極
的にシュートを放つも決め切れず、後半2得点を挙げた桐蔭大が勝
ち点3を手にした。続く専大対早大の試合では単調な試合展開が続き、
結局スコアレスドローで試合は終了。この結果、早大がまさかの最下
位に。味フィ西で行われた駒大対法大戦では、この日集中応援が行わ
れた法大が4得点を挙げ快勝。順大対国士大戦は後半、国士大が積極
的にゴールに迫るも決定力に欠け、両者無得点のまま試合は終了。川
口で行われた流経大対中大の試合は、序盤からペースを握った流経大
が2点を先取。中大もアディショナルタイムに得点ランキング1位の
矢島(2年)が1点を返すが、2対1で試合は終了し、流経大が単独首位

得点ランキング		アシストランキング	
矢島 輝一(中大)	7点	平野 篤志(駒大)	4アシスト
藤本 佳希(明大)	4点	荒木 翔(国士大)	4アシスト
和泉 竜司(明大)	3点	堀山 豪(順大)	3アシスト
		新里 涼(順大)	3アシスト

に躍り出た。上位対決となった明大対慶大の一
戦は、両者一步も譲らない攻防戦が繰り広げられ
る中、慶應が逆転勝利。明大は連敗を喫し、首位
の座を奪われることとなった。

わずかに勝ち点3差の中に5校がひしめく1部
リーグ戦。この混戦を抜け出すのがどの大学か。
ゴールデンウィークの連戦から目が離せない。

JR東日本カップ 2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦 1部順位表

[1部第6節終了時]

チーム名	流経	慶大	国士	明大	法大	順大	中大	桐蔭	専大	神大	駒大	早大	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	得失点差	順位	
流通経済大学		1△1	100	1△1			201		1△1			100	12	6	3	3	0	7	4	3	1
慶應義塾大学	1△1				201	300	1△1		103		201		11	6	3	2	1	10	7	3	2
国士館大学	001				201	0△0		601			201	001	10	6	3	1	2	10	5	5	3
明治大学	1△1	102			302	302	203				201		10	6	3	1	2	12	11	1	4
法政大学		003	102	203			201					402	9	6	3	0	3	10	11	-1	5
順天堂大学	1△1	0△0	203	102			201	100					8	6	2	2	2	7	7	0	6
中央大学	102			302		102					1△1	102	7	6	2	1	3	11	10	1	7
桐蔭横浜大学			106			001			100	200	102	1△1	7	6	2	1	3	6	10	-4	8
専修大学	1△1	301			001			001		0△0		0△0	6	6	1	3	2	4	4	0	9
神奈川大学				102			1△1	002	0△0		201	1△1	6	6	1	3	2	5	7	-2	10
駒澤大学		102	102		204		201	201		102			6	6	2	0	4	9	12	-3	11
早稲田大学	001		100			104	1△1	0△0	1△1				6	6	1	3	2	4	7	-3	12

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

負けたら、立ち上がるだけだ。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

早稲田大学 VS 法政大学

5月5日(火・祭)
11:30
たつこ

現在最下位の早大。1位・流経大との勝点差は6ポイントと大きく開いてはいるが、これ以上離されると、優勝に黄色信号が灯るだけに負けられない戦いが続く。3連勝を目標にゴールデンウィークの連戦に臨んだが、スタートとなる前節の専大戦は0-0のスコアレスドロー。チャンスを作ってはいたが、最後のところで精彩を欠いてしまった。2試合連続無得点の攻撃面を修正したい。

2連勝と調子が上がってきた法大。駒大との前節は前半14分に先制点を奪われたが21分、39分にゴールを奪って逆転。落ち着いた試合運びを見せた。失点場面を含めて細かいところは修正する余地があるが、試合を重ねるごとにチームとしての成長がうかがえるだけに、今後、台風の目になる可能性のあるチームだ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

金澤拓真(早大・DF・4年)

攻撃のバリエーションを増やしたり、個人の特徴を活かしたような攻撃をしているように心掛けていた。決定機が多かったが、結局引き分けという結果になってしまった。このような試合を勝ち切れないのが今の自分たちの現状であり、今の順位にいる理由なのだと思う。必ず勝てるように頑張りたい。



ディオラ横シルヴァノ(法大・FW・1年)

自分が試合に出る前に1点差に追い付かれて嫌な雰囲気が一瞬流れかけたが、監督から「積極的になって、ゴールして点を入れてこい」と言われたので、それが考えていなかった。連戦でみんな疲労も溜まっているが、また出場機会を奪えたら、監督の期待に応えられるようにむしやに精一杯ゴールを狙うだけなので、頑張りたい。



順天堂大学 VS 流通経済大学

5月5日(火・祭)
13:50
たつこ

なかなか波に乗り切れない順大。5節で法大に逆転負けを喫すると、前節の国士大戦も負けはしなかったものの、スコアレスドローと苦しい戦いが続いている。ゴールを奪う手段としてボールをつないでいるが、つなぐことに意識がいきすぎ、肝心のラストパスで精度を欠くなど、得点につながるいいことが多い。堀池巧監督が試合後に口にしようとして、相手の嫌がることを意図的に狙っていく必要がある。

3勝3分、勝点12、6節にしては首位に立った流経大。まさに中野雄二監督の狙いどおりの展開でここまで試合を重ねてきた。前節の中大戦は流経大が完全に試合をコントロール。今年の流経大は自分たちがボールを保持してもしっかりと勝ちきれぬ強さがある。負けられない流経大の強さは本物だ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：順大3-1流経大/順大3-2流経大

塩伏航(順大・MF・2年)

苦しい試合だったなという感じですが、流経大は強いので皆で一丸となって頑張りたい。



西谷和希(流経大・MF・4年)

7、8節は押し込めていたので、2-1で終わったが、もっと点数に差が開いても良かったのではないかなと思う。そこが攻撃陣の課題。まだ無敵なので、どんな相手にも負けないこと、勝ちにこだわりたい。



慶應義塾大学 VS 神奈川大学

5月5日(火・祭)
13:50
横浜旗

3節から2分1敗と勝ちきれない試合が続いた慶大だったが、前節の明大戦でも、終始、相手にペースを握られ、先制点を奪われながらも逆転勝利を取った。これをキッカケに再び浮上した。1失点したが、粘り強い守備が戻って攻撃がしっかりとつかみ合った試合を展開。連戦の残り2試合で勝ち切れるかどうか優勝のカギだ。

6試合を終えて1勝3分2敗となかなか勝ちきれない神大。桐蔭大との前節は、試合内容としては、ボールを保持する時間がこれまでより長く悪くはなかったが、そこで決める力が足りず、最終的には終盤の後半42分、アディショナルタイムに失点し、0-2の敗戦となってしまった。攻撃の組み立ては悪くはなかっただけに、いかにゴールに結びつけるかが今後のポイント。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

望月大知(順大・DF・3年)

相手に押し込まれる時間が長くて、苦しい試合だったがその中で勝ち点3を取ったのは良かった。今シーズンチャンスがある中で、自分はなかなか決めきれないのが今の自分自身でできて悔しかった。次節負けてしまうと今回勝った意味がなくなってしまうので、ゴールデンウィーク3連勝できるようにしっかりと勝ちたい。



武田将平(神大・MF・3年)

今まで守備の時間が多かった中で、今日は自分のたのしみを持って守備時間が長く、今までにない戦い方だった。ただ、ボールを失ってカウンターを受けたりバタバタした部分もあった。最後の決めきところや精度が桐蔭大の方が勝っていたと思うので、そういうところを修正していきたい。連戦ではできない、連戦なので修正するところを修正して今回の負けを次に生かしたい。



国士舘大学 VS 中央大学

5月8日(水・休)
13:50
川口

5節で桐蔭大を6-1で下した国士大だったが、前節の順大戦はゴールが生まれず、0-0の引き分けに終わった。前半は順大の堅い守備を崩すことができずシュート2本。一方で、後半は攻撃が活性化し、ゴール前でのプレーが多くなったが、そこで得点することはできなかったのが悔しい。とはいえ、首位と勝点2ポイント差の3位についている国士大。十分に優勝を狙える力を持っている。

5節で明大に今季初黒星をつけた中大。この勝利で一気に勢いに乗るかと思われたが、前節の流経大戦は1-2の敗戦。スコアこそ1点差の僅差だが、試合内容では相手に圧倒されただけに、守備面での早急な立て直しが必要だ。安定した守備が戻ってくれば、シュート2本の攻撃面も活性化されるはずだ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：国士大2-1中大/国士大5-1中大

奥津亮哉(国士大・GK・3年)

点をとれず勝ちきれなかったのは残念だが、こゝまで5試合失点が多い中、0に抑えられたのはGKとして良かった。現在の3位なので次節、中央大学に勝って1位を目指したい。



桜井昂(中大・FW・1年)

負けている状態に入ったので、得点に絡むことを意識して出た。関東リーグ初出場だったが、大学生はフィジカルも強く、スピードも速かった。3連戦なので、次節勝って、3戦目につなげていきたい。



明治大学 VS 桐蔭横浜大学

5月8日(水・休)
11:30
味スタ西

開幕3連勝と好調だった明大だが、4節で流経大に引き分けると、その後2連敗と崩れてしまった。前節の大戦でも、先制点を奪いながら、前半の終了間際にセットプレーから失点。前期リーグは攻撃のパワーを落とさず、いかに守備を安定させるかが大きな課題だが解消できていない。3連敗だけは絶対に避けなければならないが……。

5節で国士大に1-6の大敗を喫した桐蔭大。その影響が心配されたが、逆に、守備の意識が高まり、安定したディフェンスを神大戦では披露。粘り強さを発揮した。一方で、攻撃面も後半42分、アディショナルタイムと試合終了直前にゴールを重ねてしっかりと勝ちきった。ただ、課題を挙げるとすれば決定力。決めきれないシーンが何度かあっただけに改善していきたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：明大4-1桐蔭大/明大1-0桐蔭大

柴戸海(明大・MF・2年)

攻撃の部分で1点で終わってしまった所と、失点してしまったという所に課題がある。もっと練習から突き詰めていかないと、今日のような試合が増えて、勝てなくなってしまう。味方が良いボールをあげてくれば、その形はいつも練習からやっていたし、自分でも強みだと思っているので決められたことが良かった。もう一度守備の所から確認をして次は勝てようにしたい。



宮尾孝一(桐蔭大・MF・4年)

点を決められたことはよかったと思う。最近あまり出場機会がなかった中で、その中で結果を残せてよかった。ゴールを決めただけだと思って走ったのが点に繋がった。次も試合に出て、ゴールをしたりアシストしたりができればいいと思う。



専修大学 VS 駒澤大学

5月8日(水・休)
13:50
味スタ西

5節で3点を奪って今季初勝利を挙げた専大。強さが戻ってきたといえるところだったが、前節の早大戦は0-0のスコアレスドロー。再び攻撃陣が沈黙してしまっ。これまでの4バックから3バックにシステムを変更して臨んだ。守備面では無失点と効果が表れたが、攻撃面ではシュート5本と決定機をあまり作ることができなかった。専大の試行錯誤はしばらく続きそうだ。

11位となかなか結果が出ない駒大。前節・法大戦では前半14分に先制点を奪いながらも逆転負け。4失点と守備が崩壊。開幕からの6試合を見て12失点とリーグ最多失点だけに、守備の修正は急務だ。連続しての守備がまだ徹底できていない。こぼれ球を拾う部分など課題は山積。メンバー交代も含めてこの状況を打開していきたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：専大6-0駒大/専大5-3駒大

小口大貴(専大・DF・3年)

今季初のスリバックだったのが、相手を見くみながらシュートしようとした。前線の選手が途中で交代したりして、そこから上手く前線にボールを運べたが、丁寧にできなかったのがゴールに繋がらなかったのと思う。勝つしかないのだから、がんばりたい。



堀池翔太(駒大・FW・4年)

勝てなかったことは悔しい。ここ最近スタメンとして試合に出られていなかった。監督にチャンスをもたらしたこの試合で恩返しをしたかった。次の試合で勝たなければ降格争いで厳しいリーグ戦になってくると思う。ずっと勝てない相手なので、何としても勝たたい。

